

**AV SYSTEM FOR MULTI-ROOM**

Patent Number: JP10200968  
Publication date: 1998-07-31  
Inventor(s): OHASHI HIDEHIRO; TAKAHASHI SHINTAROU; KIMURA SATOSHI  
Applicant(s): KENWOOD CORP  
Requested Patent: ☐ JP10200968  
Application Number: JP19960358253 19961230  
Priority Number(s):  
IPC Classification: H04Q9/00; H04Q9/00; H04Q9/00  
EC Classification:  
Equivalents:

---

**Abstract**

---

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To obtain a convenient AV system for a multi-room by switching operation of an on-screen display IC to the operation for each room.  
**SOLUTION:** When a user in a room A transmits a remote control signal with a code for the room A by using a remote control commander 12 to adjust an environment for enjoying AV, the remote control signal is received at a remote control signal receiver 10, the remote control signal is judged to be the one for the room A by a microcomputer 9, various adjusting and switching operation for the room A are performed by controlling the microcomputer 9, an operation of an OSDIC 8 is simultaneously switched to the one for the room A and OSD information for the room A is displayed on a screen of a monitor TV 2 by an AV amplifier 1. Similarly, the operation of the OSDIC 8 is switched to the one for a room B and the OSD information for the room B is displayed on a screen of a monitor TV 5 by transmitting a remote control signal with a code for the room B by a user in the room B.

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-200968

(43) 公開日 平成10年(1998) 7月31日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	F I	
H 0 4 Q 9/00	3 0 1	H 0 4 Q 9/00	3 0 1 E
	3 2 1		3 2 1 C
	3 6 1		3 6 1

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-358253

(22) 出願日 平成8年(1996)12月30日

(71) 出願人 000003595

株式会社ケンウッド

東京都渋谷区道玄坂1丁目14番6号

(72) 発明者 大橋 英裕

東京都渋谷区道玄坂1丁目14番6号 株式

会社ケンウッド内

(72) 発明者 高橋 伸太郎

東京都渋谷区道玄坂1丁目14番6号 株式

会社ケンウッド内

(72) 発明者 木村 聡

東京都渋谷区道玄坂1丁目14番6号 株式

会社ケンウッド内

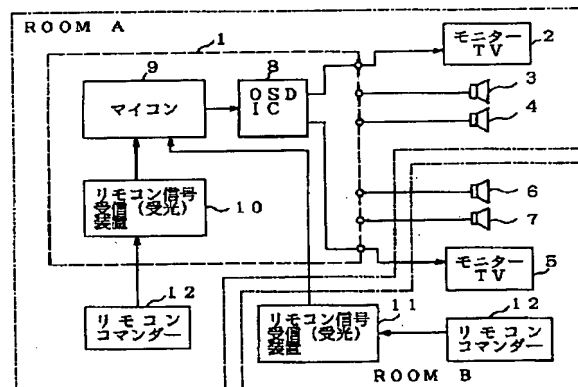
(74) 代理人 弁理士 垣内 勇

(54) 【発明の名称】 マルチルーム用AVシステム

(57) 【要約】

【課題】 本発明の目的は、使い勝手の良いマルチルーム用AVシステムを提供することにある。

【解決手段】 リモコンで切り換え可能な少なくとも2つのルーム用の複数系統のAVセクタを有するマルチルーム用AVシステムにおいて、オンスクリーンディスプレイIC(8)と、各ルーム用リモコンコードを判定する手段(9)とを備え、前記判定手段の判定結果にしたがって前記オンスクリーンディスプレイICの動作を各ルーム用に切り換えるものである。



**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** リモコンで切り換え可能な少なくとも2つのルーム用の複数系統のAVセクタを有するマルチルーム用AVシステムにおいて、オンスクリーンディスプレイICと、各ルーム用リモコンコードを判定する手段とを備え、前記判定手段の判定結果にしたがって前記オンスクリーンディスプレイICの動作を各ルーム用に切り換えることを特徴とするマルチルーム用AVシステム。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【発明の属する技術分野】** 本発明はマルチルーム用AV（音声・映像）システムに関する。

**【0002】**

**【従来の技術】** 従来のマルチルーム用AVシステムは、例えば図3に示すように、メインとなる部屋（例えばルームA）に、複数系統、例えば2系統のAVセクタを内蔵するAVアンプ（またはレシーバ）1と、AVアンプ1に接続したモニターTV（テレビ）2と、スピーカ3及び4とを配置し、また、サブとなる部屋（例えばルームB）に、AVアンプ1のセカンドルーム出力端子に接続されたモニターTV5と、スピーカ6及び7を配置していた。また、AVアンプ1には、ルームA用の電波または赤外線などによるリモコン信号受信（受光）装置10とルームB用のリモコン信号受信（受光）装置11とが接続され、受信（受光）装置10または11へリモコンコマンダー12からルームAまたはB用のリモコン信号を送信（発光）することによってAVアンプ1の各種操作（例えば、ボリューム調整や入力ソースセクタの切り換え等）を行なうことができる構成となっていた。また、AVアンプ1には1個のオンスクリーンディスプレイ（OSD）IC（図示しない）が内蔵されており、このOSD ICの制御によってモニターTV2の画面上に、AVアンプ1の各種操作に関する情報を表示し、ルームAにいるユーザーはモニターTVのこの表示を見ながらAV鑑賞の状態を変更することができるようになっていた。

**【0003】**

**【発明が解決しようとする課題】** しかしながら、上記従来の構成では、ルームA側のモニターTV2にしか各種操作情報が表示されず、ルームBにいるユーザは、AVアンプ1の各種操作情報を知ることができず、不便であった。

**【0004】** また、AVアンプ1に図4に示すような手動切換回路41を追加し、スイッチS1及びS2、スイッチS3及びS4をそれぞれ連動させ、スイッチS1及びS2をオンにするとスイッチS3及びS4がオフとなつて、入力端子42からのルームAのOSD入力情報をOSD IC11を介して出力端子44に出力してモニターTV2に供給し、スイッチS3及びS4をオンにする

とスイッチS1及びS2がオフとなつて、入力端子43からのルームBのOSD入力情報をOSD IC11を介して出力端子45に出力してモニターTV5に供給するように構成して、サブルーム側にも表示することが可能だが、この構成ではユーザがいちいちスイッチを切り換えなければならない、操作が煩わしいという問題があった。

**【0005】** 本発明の目的は、上記従来の問題点を解決し、使い勝手の良いマルチルーム用AVシステムを提供することにある。

**【0006】**

**【課題を解決するための手段】** 本発明に係るマルチルーム用AVシステムは、リモコンで切り換え可能な少なくとも2つのルーム用の複数系統のAVセクタを有するマルチルーム用AVシステムにおいて、オンスクリーンディスプレイICと、各ルーム用リモコンコードを判定する手段とを備え、前記判定手段の判定結果にしたがって前記オンスクリーンディスプレイICの動作を各ルーム用に切り換えるものである。

**【0007】**

**【作用】** リモコンコマンダーからのリモコンコードを判定し、その判定結果に応じてOSD ICの動作を自動的に各ルーム専用の動作に切り換えて各ルームのモニターTVに表示させる。

**【0008】**

**【発明の実施の形態】** 図1は、本発明によるマルチルーム用AVシステムの一実施例のブロック図である。図3の従来例と同様の構成要素には同じ符号を付す。図1において、1はAVステレオアンプ（またはレシーバ）、2はメインルーム（ルームA）用モニターTV、3及び4はルームA用スピーカ、5はサブルーム（ルームB）用モニターTV、6及び7はルームB用スピーカ、8はOSD IC、9はAVアンプ1全体の動作を制御するマイクロコンピュータ（以下マイコンという）、10はルームA用リモコン信号受信（受光）装置、11はルームB用リモコン信号受信（受光）装置、12はリモコンコマンダーである。リモコンコマンダー12には、ルームAまたはBを選択するルームセクタキーや、AVアンプ1の各種操作を行わせるための複数の操作キーが設けられており、ルームセクタキーで選択したルーム専用のコードを有する各種操作リモコン信号を送信することができる。

**【0009】** 上記の構成において、ルームAにいるユーザーが、AV鑑賞環境を調整するためにリモコンコマンダー12を使用してルームA用のコードを有するリモコン信号を送信すると、AVルームA用リモコン信号受信（受光）装置10で受信され、AVアンプ1は、マイコン9でルームA用のリモコン信号であることを判定し、マイコン9の制御によりルームA用の各種調整・切り換え動作を行なうと共に、OSD IC8の動作をルームA用に切り換え、ルームA用OSD情報をモニターTV2

の画面上に表示させる。同様に、ルームBにいるユーザーが、AV鑑賞環境を調整するためにリモコンコマンダー12を使用してルームB用のコードを有するリモコン信号を送信すると、AVルームB用リモコン信号受信(受光)装置11で受信され、AVアンプ1は、マイコン9でルームB用のリモコン信号であることを判定し、マイコン9の制御によりルームB用の各種調整・切り換え動作を行なうと共に、OSD IC 8の動作をルームB用に切り換え、ルームB用OSD情報をモニターTV 5の画面上に表示させる。

【0010】次に、上記の動作を図2に示すフローチャートに基づいて説明する。なお、ここでは入力ソースセクタキーが操作されたときの例を示す。まず、ユーザーはリモコンコマンダー12のルームセクタを、ルームAで使用する場合はルームAモードに、ルームBで使用する場合はルームBモードにそれぞれ操作モードを切換えておく。リモコンコマンダー12は入力ソースセクタキーが操作されたとき、例えば[ルームA-V I D E O 1]、[ルームB A U X]等のコードのリモコン信号を出力する。そこで、ステップS1で、AVアンプ1は、このセクタコードの到来を判定し、イエスならばステップS2に進み、セクタコードがルームAか否かを判定する。ステップS2の答がイエスならばステップS3に進み、自動的にOSD IC 8をルームA用の動作に切り換え、ノーならばステップS4に進み自動的にOSD IC 8をルームBに切換える。

【0011】以上のようにして、リモコンコマンダーからのセクタコードの判定により、自動的に各ルームのモニターTVにそのルーム専用のOSD表示が行われ

る。

【0012】

【発明の効果】本発明によれば、ユーザは操作を意識することなく、リモコンを操作した時には、自分のいる部屋のモニターにOSD表示が行なわれ、情報を知ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るマルチルーム用AVシステムの一実施例のブロック図である。

【図2】図1のブロック図の動作を説明するフローチャートである。

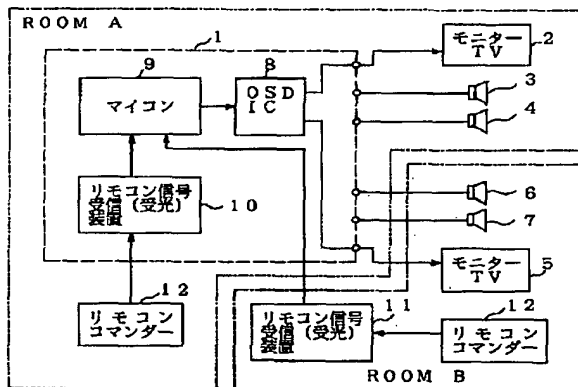
【図3】従来のマルチルーム用AVシステムの一例の概略図である。

【図4】従来のマルチルーム用AVシステムの他の例の要部ブロック図である。

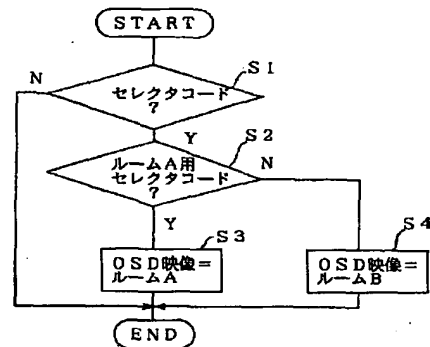
【符号の説明】

- 1 AVアンプ(レシーバ)
- 2 モニターTV
- 3 スピーカ
- 4 スピーカ
- 5 モニターTV
- 6 スピーカ
- 7 スピーカ
- 8 OSD IC
- 9 マイコン
- 10 ルームA用リモコン信号受信(受光)装置
- 11 ルームB用リモコン信号受信(受光)装置
- 12 リモコンコマンダー

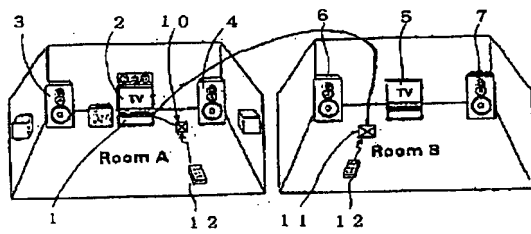
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

